

平成 22 年国勢調査実施計画のポイント

—正確・円滑な調査と精度の高い統計をめざして—

平成 22 年国勢調査の意義

- 本格的な人口減少社会となって初めての調査
- 我が国が直面する様々な重要課題に対する適切な施策の策定・推進のため、精度の高い統計を提供
- 国連が勧告する「2010 年ラウンド世界人口・住宅センサス計画」の一環としての実施

実施の方法

- 封入提出方式の全面導入（調査員への提出の場合）～ 個人情報保護意識への配慮
 - 調査票は、世帯が封筒に入れ、封をして提出
 - 調査員は、開封せず、封をしたまま市町村へ提出
- 郵送提出方式の導入 ～ 個人情報保護意識への配慮及び昼間不在世帯等の増加への対応
 - 世帯が確実に調査票を提出できるよう、郵送により直接市町村に提出する方法を導入
 - 提出方法（調査員への封入提出方式、郵送提出方式）は世帯が選択
- インターネット回答方式の導入 ～ 東京都全域（島しょ部を含む。）で実施
 - 世帯の調査票提出の利便性確保と事務の効率化にもつながることから、将来を見据え、東京都全域をモデル地域として、先行的に導入
 - 東京都においては、インターネット回答方式を含む提出方法の中から世帯が選択
- 補助用調査票も用意
 - 調査票は 4 名連記の OCR 調査票
 - このほか、補助用調査票として、**拡大文字調査票**（高齢者や視力の弱い人のため）、**点字調査票**（視覚障がいのある人のため）、**外国語調査票**（外国人世帯用として調査票を 27 言語に翻訳）を作成
- 精度確保の方法
 - 市町村における審査段階での行政資料の活用
 - このほか、必要に応じて関係者に対する質問を行い、調査票の記入不備等を補完

(参考)

- 今回の調査では、ICT を活用した国民への情報提供を推進
- 統計局ホームページの広報サイトを一新し、「国勢調査 e-ガイド」を提供開始